

“わたしのまち”

港区

徳川家康没後400年、「家康ゆかりの地」をめぐって

「港区観光ボランティアと楽しむまち歩き」

平成27年、徳川家康没後400年を迎えました。家康をはじめとした徳川家ゆかりの地が多くある港区では平成27年11月21日に、区が育成した「港区観光ボランティア」の協力を得て、まち歩きツアー「徳川将軍家菩提寺増上寺の歴史を訪ねる」を実施しました。そこで、今回実施したまち歩きツアーを取り上げ、あわせてこのツアーを支える港区観光ボランティアの取組やまち歩きツアーの情報、将来展望などを紹介します。



「家康ゆかりの地」をめぐる

徳川家康にゆかりのある増上寺

りの地が多い港区ならではの企画となり好評を博しました。

平成27年11月28日、港区赤坂区民センターで歴史フォーラム「徳川家康」が行われました。このフォーラムは、徳川家康没後400年を記念して企画されたもので、加来耕三さん（歴史家・作家）による徳川家康の人物像や区内の徳川家ゆかりの地の紹介、堀江宏樹さん（作家・歴史エッセイスト）による港区観光ボランティアのまち歩きツアー「徳川将軍家菩提寺増上寺の歴史を訪ねる」を行った様子と観光スポットの紹介、中尾彬さん（俳優・タレント）による演者の視点からみた徳川家康像などのトークは、徳川家ゆか

平成27年11月21日に実施されたまち歩きツアー「徳川将軍家菩提寺増上寺の歴史を訪ねる」では、徳川家康の菩提寺となる増上寺境内とその周辺に存在するさまざまな史跡をめぐり、時代とともに大きな変遷を遂げた増上寺の歴史を探るまち歩きツアーとして実施しました。

増上寺大殿（本堂）や家康の信仰の対象となっていた黒本尊の祀られた安国殿、徳川将軍家墓所や三解脱門、有章院霊廟二天門のほか、増上寺にまつわる重要な文化財が保存されている増上寺別院「妙定院」に至るコースでし

徳川家康没後400年を記念して企画された、港区歴史フォーラム「徳川家康」

まち歩きツアー

「徳川将軍家菩提寺増上寺の歴史を訪ねる」

で訪れる主なめぐり先



増上寺



徳川将軍家墓所



芝東照宮



増上寺別院 妙定院

港区観光ボランティアとは

このまち歩きツアーの中で、施設の説明や歴史的内容の解説などコース全

体の観光ガイドを務めたのは「港区観光ボランティアの会」の方たちです。港区観光ボランティアは、区が実施した「港区観光ボランティア育成講座」

まちめぐりに欠かせない港区観光ボランティア

た。約2時間半のまち歩きツアーにも関わらず、参加者からは「日頃付近を散歩するだけの増上寺について多くの知識を得た」「通常入れない所に入れ

たというのは、大変ありがたいと思っ

港区観光ボランティアが関わる人気のまち歩きツアー

を修了した方たちが、まち歩きツアーを行うなど、区の多彩な観光資源を多くの方に伝える港区公認の観光ガイドです。

港区観光ボランティア育成講座では

地元に誇りと愛着を持つ方を募集し、観光ガイドとしての基礎知識やガイドコースをつくるワークショップなどを経て、スキルアップした方が港区観光ボランティアとして登録されています。

港区は多彩な観光資源に恵まれ、情報誌などには取り上げられませんが、一歩な港区の史跡や建築物、景色などの観光スポットをさまざまなエピソードを交えて港区観光ボランティアが紹介します。

実際に住んでいるからこそ知っている港区の良さ、隠れた名所などを紹介・発信することで、区の新たな魅力を伝えていきます。

平成27年度実施のツアー

平成27年度、港区観光ボランティアによるまち歩きツアーは、全部で43コ

平成27年度 定番コースとして企画された

ガイドコース

- 1 高輪 古に思いを・高輪名所めぐり
- 2 南青山 芸術家たちの足跡を訪ねて
- 3 麻布 基本の「き」コース
- 4 六本木 六本木アートトライアングルをめぐる
- 5 外苑 新緑の外苑イチョウ並木を歩く
- 6 白金 緑豊かな白金遊歩
- 7 芝 芝の今昔物語
- 8 赤坂 伝統と現代が織りなす赤坂の魅力を探る
- 9 新橋 新橋の歴史さんぽ
- 10 芝浦 とっておきの芝浦
- 11 お台場 お台場の新しい空間を味わう



まち歩きツアーでの港区観光ボランティアの説明によって、訪れた場所の理解が深まる





人気の定番コースやその時期しか開催されないまち歩きツアーなど、さまざまな企画がされており見逃せない

コースの実施を予定しています。青山やお台場のコースでは、芸術家たちの足跡を訪ねながらまち歩きをしたり、浜辺を歩くことで趣き深い地域の魅力を知ることができま

す。また、芝や高輪、麻布のコースでは、古くからのまち並みを歩き、まちめぐりの楽しさを感じられるルートなどが用意されており、身近な場所に広がる地域の魅力を再発見することができます。

人気の高いコースとして「大使館のメッカ麻布、40か国をめぐる」のように港区のまちのイメージ、区の魅力が感じられやすいもの、「赤穂義士ゆかりの地をめぐる」といった歴史を取り上げたまち歩きツアーがあげられます。また、冬季に実施した「Xmasイルミネーションく輝くまち・六本木から赤坂へく」は、季節的なテーマとマッチし評判の良いまち歩きツアーでした。

区内のまち歩きツアーの未来

港区国際観光ボランティアの育成

今後、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催などを控え、外国人旅行者の増加も想定されています。来訪した観光客に区内のまちめぐりを楽しんでもらうため、港区では平成27年度から外国語対応が可能な港区国際観光ボランティアの育成を開始しました。

日常会話程度の会話が英語で話せる方を対象に募集しており、これまで行っている港区観光ボランティアのカリキュラムに加えて、英語で案内する場

面を設けるなど、本格的な内容になっています。

今年度は、29名が港区国際観光ボランティア育成講座を修了する予定です。来年度は、中国語、ハンダ語にも対象を広げ、育成講座を実施する予定です。港区では、「観光最先端都市MINTO」の実現に向け、来訪する外国人旅行者に港区の魅力をより多くの方に伝えていく必要があります。

また、将来的にはホテル事業者などとも連携した、来訪者のニーズに応じたまち歩きツアーの実施など、よりきめ細やかなガイド事業を検討しています。

港区国際観光ボランティア

平成27年6月から平成28年1月までの約7か月間で全15回（補講、特別講座も含め）の講座が実施されている。

講座では、港区観光ボランティアの役割や区内の観光資源を考える内容に始まり、ワークショップやグループワークを経て、先輩ガイドの案内を学ぶためのフィールドワークや受講生によるモニターツアーなどを実施し、スキルアップを図り、最終的には、港区観光ボランティアとして活動に必要なことをレポートにまとめ修了する、本格的な研修が実施されている。



平成27年度港区国際観光ボランティア第1期生

港区観光ボランティアによるまち歩きを楽しみながら地元の魅力を知ることがますます増えるでしょう。